2 防災・減災の意識を高める

● 自然災害の科学的な理解から、未来の防災・減災へ

災害の負の部分だけを学ぶのではなく、知識や経験から得た「知恵」を中学生の未来・将来につなげていけるような「未来志向型の防災・減災教育」を目指しました。また、災害の内容は導入や興味づけとしては扱わず、自然現象の学習の後に配置し、科学的な視点で災害を学べる構成にしています。

防災・減災に 関する内容を 全学年に掲載

復元した水屋(国営木曽三川公園内, 岐阜県海津市)

〈1年〉大地の恵みと災害



よる建築物の倒壊

(兵庫県神戸市)

〈2年〉天気の変化がもたらす恵みと災害



図80 河川沿いの遊水地(神奈川県横浜市) 遊水地とは、河川沿地の低水をたる氾濫などを防ぐために、 河川沿いの低地に一時的に水をたくわえるところで、ふ だんは公園やグラウンドなどとして利用されている。

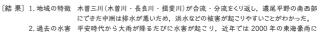
2年 p.124

〈3年〉地域の自然災害



『木曽三川の水害とその対策』

- [目的] 校区内を流れる木曽三川の過去の水害と、その対策や備えについて調べる。
- [方法] 河川事務所の人に聞いたり、インターネットなどを利用したりして、過去に起こった水害やその対策などを調べた。



より河川が氾濫し大きな被害が出た。

3. 木曽三川の水害対策 洪水に備えて、輪中堤という堤防で集落や耕地の周りを囲んでいた。 それだけでなく、ふだんくらしている母屋より高い水屋をつくり、舟 や生活に必要なものを保管するなどのくふうもしていた。

3年 p.293

1年 p.117

● コラムや資料も充実

防災・減災に関する科学コラム「防災減災ラボ」を全学年に掲載しています。また、3年の巻末には、発生が危惧されている「南海トラフでの地震」について特集したサイエンス資料を掲載しています。



1年 p.164

